



第22回東北鞍馬競技大会(一の関河川公園)

6月定例会概要	2P
議案審議	3P
一般質問	4～6P
委員会活動	7P
町民の声・一般質問のゆくえ	8P



若あゆ温泉 支配人を配置（4月1日付）

# 質 疑 心 答

**議員** 若あゆ温泉に支配人を置いたことで人件費が増え、収益が減るのではないか。

**振興課長** 指定管理者制度で1億円以上の事業及び施設に、総括する責任者を置くのは当然と考えます。支配人は、トラブルに対する適切な対応や営業活動を積極的に進めています。燃料費の高騰で厳しい運営ですが、すぐに入湯料を値上げするわけにはいきません。給与体系や入湯料については、取締役会で検討します。

**議員** 舟形ほほえみ保育園の管理・安全対策と新保育指針実施に向けての保育士の研修は、

**町民課長** 園児の安全確保のため、フェンスを設置します。除雪重機が入れないようなら家庭用の除雪機を使うなど検討します。保育指針の改定で保育士の質をより高めていくのが大事になっています。今までは、県の社会福祉協議会や保育協議会等の主催する研修会に積極的に参加しています。中央研修、東北ブロック研修などは、内容を精査して考えていきます。

**議員** 活気あふれる農業推進機構費として232万円を計上しているが、どのような事業か。

**振興課長** 複合経営で農業所得500万円を目指し悪七氏（元県農林水産部長）に月1回と山川氏（元県農林水産部次長）に週1回の予定で、指導助言をいただき町の産業振興を図るための新規事業です。

**議員** 国民健康保険税の増額について、資産価値が下がっている中で、資産割額より所得割額を増やしたほうが滞納もなくなるのではないか。

**町民課長** 後期高齢者支援金を入れても増額にならないようにしたかったのですが医療費の急激な伸びにより増額せざるを得ませんでした。所得割と資産割の配分については、今後検討いたします。

## 全議案、原案の通り可決

# 国民健康保険税 後期高齢者支援金の賦課・限度額の改正

## 新規事業 活気あふれる農業推進機構事業

産業の振興を複合経営で  
農業所得500万円をめざす  
悪七氏、山川氏（県職員OB）の両名を  
アドバイザーに

## （株）舟形町振興公社経営状況報告

### 第12期決算報告内容

- 代表取締役を町長から振興課長に  
支配人の配置
- 経費の節約
- 新規営業活動による利用者確保

### 主な付議事件

- 19年度振興公社経営状況の報告
- 20年度一般会計・老人保健・簡易水道・農集排特別会計補正予算
- 町手数料条例一部改正
- 国民健康保険税条例一部改正
- 町監査委員条例の設定



園児が安全に遊べる園庭に

**議員** 農集排の加入率は、全戸加入で使用料は安くなるのか。

**振興課長** 加入率は約90%です。維持管理費が年々上がってくる中で使用料は安くはなりません。

**議員** 職員定数を現状に合った定数に条例改正する考えはあるのか。

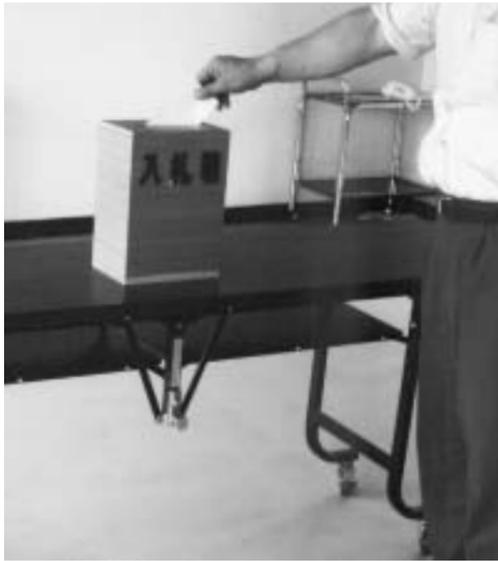
**総務課長** 年々職員数を減らしてきています。現状に合った定数に改正すべきか、課内でもいろいろ議論した経過もありますが、県への報告も現状の方が有利の点が多くあり、また、他町村の条例改正の動きもありません。現在、県のヒアリングもクリアしていますが、今後改正すべきとの指導を受けた時点で考えます。



八鍬 太 議員

# 選定基準の透明性を図れ

## 他市町村の状況を調査し検討



透明性が求められる入札制度

**質問** 町で行う事業や物品の取引については公正な選定と適正な価格をもって質の高い施工や物品の供給により受益者である町民が納得し満足するものであるべきであり、町が施工する建設工事や物品納入においては不正の防止や公正な執行に努めていると考えますが、町民の目線に立てばまだまだ不透明な部分が多いと言わざるを得ません。地方経済の不況感があります。拡大しつつある現状に

おいて、地元業者の育成や利活用も重要な課題であり、総合的な選定基準の設定も必要と考えます。積極的に情報の開示を行い、だれの目からも納得のできる選定基準や制度にすべきであり、次の点の考えを伺います。

1 工事業者選定審査会に町民の参加と審査の公開 地元業者の優先方策 随意契約の透明性の確保や情報公開 第三者機関による監視体制の強化。

**町長** 国では公務員の天下り禁止や業者との癒着防止のために、公務員改革議論が行われています。以前から政治家、公務員と業者との癒着が問題視され、問題が起こる度に新法律の制定や改正が行われてきました。これが未だ無くなりません。これは何と言っても政治家なり公務員のモラル、意識の問題に他なりません。

1 点目について、業者指名を受けるには基本的に「指名参加願い申請」を役場に提出する必要があります。するとその会社の工事実績、経営状況、技術職員数、工事安全実績などの経営審査により総合評価得点を行いその得点によりAからDまでの4ランクに区分しています。その工事設計金額によって高金額はAランクの業者を、低金額はDランクを指名することと基準を公表し決めています。審査会の公開及び町民参加は他市

町村の状況問題を調査し検討します。

2 点目ですが、大規模工事を除きランク毎、設計金額毎に町内業者を指名しています。しかし、入札執行の意義は「最少経費で最大効果」ですので、競争原理を維持しながら地域経済への影響大である地元業者を育成していきます。

3 点目ですが、地方自治法上130万円以下で特別な理由があれば随意契約が出来ることになっています。しかし、極力指名競争で、また、正規の見積り入札で執行し、決して疑惑の持たれることの無いように職員に指示しています。

4 点目ですが、昨今は工事発注が年々減少しています。そこで監視体制が必要か、公表することにより監視強化できないか、県や他市町村の動向を調査検討いたします。



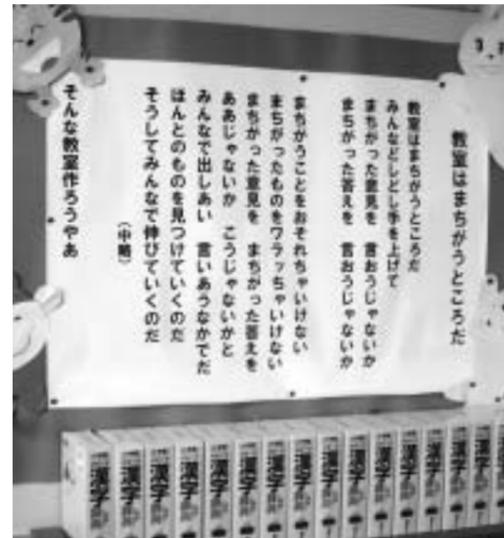
沼澤正則 議員

# 日本一の教育の町づくりを

## 教育課程を確固たるものに

**質問** 町長は、教育環境の整備は、行政の義務と考えるですが、各学校からの要望は充足されていますか。全国学力・学習状況調査で「子ども達に意見を出させ、先生が助言しながら話し合いの中で高めていく授業展開が成績上位の要因」という分析がありますが、

舟形町の現状をお聞きします。学習指導要領改訂と光ファイバー網整備などの時期が一致したこの運命的チャンスに、「日本一の教育の町」づくりに向けて、新学習指導要領を先取りして実践する研究開発学校に立候補する考えはありますか。



伝え合い、学び合って学力向上 (舟形小学校4年教室)

**町長** 学校は、児童・生徒の学習の場として、災害時の避難所の役割があります。中国の大地震では多くの児童・生徒が被災し、死傷者も出ました。舟形町では、学校の耐震率は100パーセントです。

学校からの図書購入や備品購入などのソフト面や、修繕などの環境整備の要望に対しても充分に対応しています。

2 番目の授業展開では、当町でも秋田県と同じように「生徒の意見を尊重し、助言する」という授業を行っており、他と比較しても劣らない内容となっております。

新学習指導要領は、生きる力を継続し、基礎的な知識の取得や活用力の育成、主体的に学ぶ姿勢、個性を生かす教育が特徴的となっ

ています。教科をこえて言語力の向上も位置づけられています。町では、教育委員会が各学校に研究を委嘱し、国語、算数、英語などの学力向上を図っています。

新指導要領の研究開発校としてという提案ですが、県や当町の教育水準や授業レベルは決して劣るものではなく、むしろ、情報教育も含め、今、実践している教育課程を確固たるものにするのが、より学力向上や資質向上につながるものと理解しています。

**質問** 町関連の仕事に携わる企業・業者は、進んで環境美化に努める姿勢を示してほしいし、そういう考えのところに仕事をまかせてほしいと考えますが、現状把握・分析と対応についてお聞きします。

**町長** 不法投棄など町内の環境美化については、春と秋に山形県と警察署との合同パトロールを実施しており、その際にも「資材置き場を確保して、廃棄物処分業を行うよう」指導しています。また、産業廃棄物処分業者が、道路や側溝などに影響を与えた場合は、「町との公害防止協定に基づき、営業を営むよう」指導を強化するとともに地区民との協調、共存を図るよう指導していきたいと考えます。



大場 清之 議員

# 小学校統合をどう考えるか

## 一貫教育を目指して

**質問** 舟形ほほえみ保育園が今年4月に開園し、現在172名と多くの子供達が通っていることは、未満児保育や延長保育など、子育て支援を充実した成果であり、大変すばらしいことと思います。しかし、その反面、小学校では少子化により複式学級が増え、堀内小学校では全クラス、富長小

学校2クラス、長沢小学校も来年には複式学級になることとしています。保育所は統合、小学校は学区に戻り複式学級、そして中学校で統合とちぐはぐで、町が目指す一貫教育には程遠いように感じます。今後、学校教育をどのように進めていくのか考えをお聞きます。



複式学級の授業の様子(堀内小学校)

**町長** 小学校の統合問題ですが、結論から言いますと、「統合ありきでなく、保護者や地域の意見を尊重し、子どもたちの教育環境をどのように改善するか」という観点で据えていきます。堀内小学校では3クラス、富長小学校では2クラスが複式学級であり、来年度は長沢小学校でも1クラスが複式学級になります。小規模校複式学級だからということだけで、必ずしもダメ

リットだけではありませんが、児童・生徒から見れば保育園で一緒にいる、小学校入学と同時に別れ、中学校で一緒に学習することになります。こうした就学状況や学習環境をどのように見るかも含め、どうすべきか地域や保護者、行政、そして学校がともに話し合い、良い環境を創っていくことが大切です。来年度から新保育指針が実施される中、今以上に保育園、小学校の連携が必要となりますが、「舟形町の子育て」として方向性を見出す事が必要です。

ります。雇用、定住対策、結婚、出産、子育てなど、多岐に渡る支援や、予算的にも積極的な取り組みが必要と思われませんが考えをお聞きます。

**町長** 少子化対策ですが「安心して暮らせる住みよい町づくり」など、5つを町政の柱にし、すすめています。今、企業誘致や農業支援、教育環境の充実など、住み良さを充実させ定住促進活動を図っています。本年度は若者定住住宅の整備、光ファイバー整備、チャレンジ農業実践をスタートさせました。また、4月から政策推進室、子育て支援推進室、収納対策室を設置しましたが、町民の方々や職員からの町づくり提案制を取り入れながら具体的な政策の推進を図ります。

### 少子化対策について

**質問** 少子化は人口減少につながり、町の存続そのものに係る重大な問題である。

### 第25回町村議会広報研修会

5月30日、山形市の国際交流プラザにおいて、第25回町村議会広報研修会が開催され、県内各町村の広報編集委員など約130名が参加。当議会からも広報編集委員5名と事務局職員が参加しました。

講師に全国町村議会広報コンクルの審査員であるエディターの城市創氏を迎え、議会だよりの編集のポイントについて研修しました。今回研修したことをこれからの紙面作りにかいながらより親しみやすい広報紙にしていきます。

### 総務振興常任委員会

子育て支援集合住宅については、3月定例会で予算を含めすべて可決されていることもあり、年度内完成に向け、結論を急ぐべきと考え、町長に対し所管事務調査を申し入れたところ、振興課並びにまちづくり課職員の参加を得て、行政側から出された建設構想図に基づき、大まかな計測を行いながら、今後の子育て支援集合住宅や、定住住宅宅地造成の件について6月3日に説明を受けました。

現地においては、議員から質問の多かった選定場所や建物の構造等を中心に、実現の可能性を含め、話し合いをしたところです。

当委員会としては、広大な旧舟形小学校跡地の利活用の必要性は充分理解できるものの、子育て支援集合住宅の成否が、今後の舟形町の発展を左右されるものとして、町民の関心も高いことから、是非成功させなければならないという責任感を、行政並びに議員双方が共有し、今後は下記の件に留意しながら、慎重な上にも早急に方向性を示し、年度内の完成を目指すべきと意見を集約したところです。

「子育て支援集合住宅」、「住宅用地造成」事業を進めるにあたっての留意すべき事項

- 1 平成20年度予算の最重要事業であり、年度内完成に向け全力で取り組むこと。
- 2 議会の総意として付帯決議でも述べているとおり、行政施策の「みえる化」になお一層の努力を図ること。
- 3 若者のニーズに沿った集合住宅の構造や環境整備に配慮すること。
- 4 子育て支援策を明確にし、入居希望者へのPRを充実させること。

情報公開をして広く知らしめること。



造成予定地(旧舟形小跡地)



真剣に研修している編集委員(円内は城市氏)

# 声 声 声

皆さんの声を掲載する欄です。  
議会に対するご意見・ご要望等、  
お気軽にお寄せ下さい。

町でも人口減少と少子化が進んでいます。

子ども一人産むたびに100万円の出生祝い金制度の新設と、自転車用ヘルメットの購入費用の一部補助を町に要望します。

交通安全活動推進員として町内で死亡事故0・飲酒運転を絶対出さない、高齢者の事故のない安全な毎日を過ごせるよう活動に励んでいる中で、無灯火で自転車運転している大人の方が数人いたので声をかけました。

町内のおまわりさんが毎日何度も巡回して下さい

命を守るシートベルトの着用が後部座席も本年6月より義務化され、チャイルドシートとともに忘れず着用して、事故のない家庭と、明るい町を築いていきましょ。



町交通安全活動推進員  
大場 清さん  
(長沢3)

## シリーズ

# 一般質問のゆぐえ

(平成11年3月定例会)

### 質問

ゴルフ場の冬季利用について、雪国ならではの特色をいかし、カートコースを利用したクロカンやラングラウフスキーなどの利活用を。

### 答弁

計画当初から検討してきたが、コース内の芝への影響等も考えられるため2～3年経過した後に、住民のニーズに応じた利活用を考えていきたい。

### 現状

コース内には、調整池があり、冬期の安全確保ができない。また、滑走した場合、滑走痕がつき春芽立ちに影響が大きく、圧雪すると融雪が遅れ、オープンも遅くなり、収入に影響大である。今年度より経営者も変わり、指定管理者制度にもなっていることから利活用については好ましくないとと思われる。

## 編集後記

6月議会は、15の付議事件を審議しました。本会議の間には、付帯決議を行った定住促進団地整備事業について説明を受け議論し、また、町営バス等の運行見直し計画についての説明を受けました。さらに、最上総合支庁職員から説明を受け、町幹部職員と一緒に市町村合併についての勉強会も行いました。短い期間ではありましたが、多くの町の課題について真剣な話し合いがもたれました。

また、4月から町ホームページに議会の概要を載せています。みなさんご覧になりましたか。議会活動をわかりやすく解説してありますのでぜひご覧ください。合わせて議会活動に対するご意見やご要望もホームページを通してお寄せいただければと思います。

(沼澤正則記)



議会だよりふながた

発行 舟形町議会  
編集 議会報編集委員会

〒999-4601 山形県最上郡舟形町舟形263番地  
電話(0233)32-2111